

東京植物検疫協会は国際植物防疫年 2020 のオフィシャルサポーターです。 

東京港における植物の輸入状況（令和 2 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、令和 2 年も 23 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

令和 2 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 191.9 万ト（前年比 96.5%）と 2 年連続で減少となった。輸入植物の生産国は 94 の国と地域に及び、重量ベースでみると、全体では米国が第一位で 4 割以上を占めている。

栽植用植物：前年比 75.1%と減少した。草花類など 5 カ国から輸入された。主な品目は、中国産ヒカゲノカズラ属苗 1,672 千個（同 71.2%）、ベトナム産ファレノプシス属苗 657 千個（同 118.8%）が定期的に輸入された。

栽植用球根：前年比 97.0%と減少した。主な品目は、ユリ 1,881 万球（同 99.6%）、スイセン 50 万球（同 100.0%）、アマリリス 11 万球（同 110.0%）であった。5 カ国から輸入され、オランダ産が約 7 割を占めている。

栽植用種子：前年比 74.3%と減少した。主な品目は飼料・緑肥作物、野菜などで 26 カ国から輸入され、5 割以上が米国産である。全体の半数以上を飼料・緑肥作物が占めるが、1,335 ト（同 77.2%）と減少した。

切花、切葉、切枝：前年比 102.4%と増加した。キク 8,852 万本（同 108.8%）、カーネーション 3,012 万本（同 172.5%）、ヒサカキ 9,773 万本（同 93.8%）など、多種類の切花、切葉類が 10 カ国から輸入された。全体の約 6 割を占める中国産は 17,948 万本（同 99.2%）と減少した。

果実：前年比 92.5%と減少した。39 カ国から輸入され、全体の半分以上を占めるバナナは 254,481 ト（同 98.3%）と減少した。専用船積主要品目はフィリピン産バナナ 233,301 ト（同 97.1%）、同国産パインアップル 27,958 ト（同 119.4%）、ニュージーランド産キウイフルーツ 29,897 ト（同 108.8%）であった。コンテナ貨物でも最多

本数のバナナは 1,284 本（+176 本）と増加した。次いでブドウが 1,093 本（+341 本）であった。柑橘類のグレープフルーツ 20,509 ト（同 94.4%）、オレンジ 15,372 ト（同 73.3%）、レモン 4,766 ト（同 23.4%）はすべて減少した。

野菜：前年比 87.7%と減少した。36 カ国から輸入され、コンテナ本数 14,031 本（-1,719 本）と減少し、過去 10 年で最も少ない本数となった前年を大きく下回った。8 割以上を占める中国産は 227,028 ト（同 87.3%）と減少し、次いでニュージーランド産が 16,233 ト（同 113.0%）と増加、米国産は 10,090 ト（同 79.3%）と減少した。約 4 割を占めるタマネギは 99,901 ト（同 79.0%）と減少、その他主要品目のナガネギ 25,484 ト（同 82.9%）とキャベツ 12,532 ト（同 89.5%）は減少し、ニンジン 36,464 ト（同 101.9%）と凍結野菜 33,163 ト（同 102.9%）は増加であった。

穀類：前年比 96.4%と減少した。27 カ国から輸入され、5 割以上が専用船積コムギで 185,064 ト（同 97.0%）と減少した。モルトは 11 カ国から輸入され 103,692 ト（同 94.0%）、コンテナ本数は 4,794 本と 403 本減少した。

豆類：前年比 77.1%と減少した。24 カ国から輸入され、9 割以上がダイズで 8 カ国から輸入され 125,557 ト（同 76.2%）、コンテナ本数 6,242 本と 1,922 本減少した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 90.2%と減少した。75 カ国から輸入され、アーモンド 17,218 ト（同 88.0%）、タバコ 11,189 ト（同 90.8%）であった。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 110.5%と増加した。49 カ国から輸入され、乾燥牧草が 511,644 ト（同 110.3%）と増加した。牧草主要産地別コンテナ本数は米国 18,824 本（+1,899 本）、カナダ 2,985 本（-10 本）であった。

木材：前年比 10.2%と減少した。カナダ 1 カ国から 10m³ 輸入された。（業務グループ 青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物	栽植用球根	栽植用種子	切花切葉切枝	果実	野菜	穀類	豆類	嗜好香辛料・他辛染食料品	油料・肥料・他飼料雑品	木材	* 合計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m ³)	(千トン)
令和2年	2,451	20,542	2.6	303,650	433	271	346	135	55	676	10	1,919
令和元年	3,262	21,177	3.5	296,606	468	309	359	175	61	612	98	1,988
令2/令元年比(%)	75.1%	97.0%	74.3%	102.4%	92.5%	87.7%	96.4%	77.1%	90.2%	110.5%	10.2%	96.5%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

種苗類検査の適切な実施に向けた対応について

植物防疫法施行規則別表 2 の 2 (検査措置要求)、別表 1 の 2 (栽培地検査要求) について、輸出国において検査が行われ、当該検査有害動植物に侵されていないことを確認し、検査証明書に追記することを要求しています。

先般、この追記がされた検査証明書を添付し輸入された植物(種子・苗類)から、当該検査有害動植物が発見された事例を受け、対象国に対し本事例の原因究明の要請と、同様の検査の実施を求めている該当植物に対し暫定措置として、輸入時に各植物(貨物、郵便物、携帯品)に対応した検査措置の実施や、輸出国へ検査証明書発行の一時停止を要請しています。詳細については、植物防疫所にご確認下さい。

なお、植物防疫所より、輸入時に精密検定を実施する植物については、検定に時間を要している状況のため、検定期間を見込んだ余裕のある輸入計画の検討をお願いします。

○中国産栽培用種子に対する暫定検査対応について

対象植物:規則別表 2 の 2 の 19 項スイカ果実汚斑細菌病菌 (*Acidovorax avenae* subsp. *citrulli*)、24 項ジャガイモやせいもウイロイド (*Potato spindle tuber viroid*) 及び 25 項 *Pepino mosaic virus*、34 項 *Maize chlorotic mottle virus*、36 項 *Tomato brown rugose fruit virus* 及び 38 項 *Zucchini green mottle mosaic virus* に掲げる植物の種子であって、中国において当該別表に係る植物検査措置が実施されたもの。

検査の方法: 令和 2 年 11 月 11 日から当面の間、当該検査有害動植物を対象とした遺伝子検定の実施。

○インド産苗に対する暫定検査対応について

対象植物:規則別表 1 の 2 の 7 項バナナネモグリセンチュウ (*Radopholus similis*) に掲げる植物の地下部であって、インドにおいて当該別表に係る植物検査措置が実施されたもの。

検査の方法: 令和 2 年 11 月 11 日から当面の間

【栽培の用に供する植物】

地下部の綿密な検査を行うとともに、地下部及び培養資材を対象にベルマン法を実施する。

【栽培の用に供しない植物】

地下部の綿密な検査を行い、変色等の異常が認められた場合は、ベルマン法を実施する。

○インドネシア産苗に対する検査証明書発行の停止要請について

対象植物:規則別表 1 の 2 の 7 項バナナネモグリセンチュウ (*Radopholus similis*) に掲げる次の植物の地下部であって、インドネシアにおいて当該別表に係る植物検査措置が実施されたもの。

【具体的な植物】 アヌビアス属、アンスリューム属、クズワコン属植物、ココヤシ、サトイモ、サトウキビ、ショウガなど(一部抜粋)の生きた植物の地下部。(食用であっても栽培ができるものは含まれます。)

当該植物が輸入された場合の措置: 令和 2 年 11 月 11 日以降の日付で発行された検査証明書が添付された対象植物が輸入された場合、輸入検査で廃棄又は返送の措置となります。

メキシコ産ミネオラ生果実の輸入について

令和 3 年 3 月 4 日付で「メキシコ合衆国ソノラ州、バハ・カリフォルニア・スル州、チワワ州及びシナロア州におけるアナストレファ属ミバエに対する検査措置について」(平成 19 年 6 月 18 日付け 17 消案第 13245 号) に関し、メキシコ・日本両国で合意された作業計画に基づく対象生果実にミネオラ (*Citrus x tangelo*) が追加され、輸入が認められることとなった。

なお、メキシコから日本へ発送されるミカン属生果実(レモン及びライムを除く)は、アナストレファ属ミバエの寄主植物であることから、輸出国での検査措置が必要な植物(植物防疫法施行規則別表二の二)に該当し、輸出国の政府機関により発行され、かつ、その検査の結果検査有害動植物が付着していないことを確かめ、又は信ずる旨を記載した検査証明書の添付が必要となっている。その検査証明書には、輸出国の政府機関により定められた作業計画による措置が行われ、当該ミバエに侵されていないことが特記されていることなどとなっている。

東京植物検疫協会事務局人事

○ 3 月 1 日付
職員採用 菊口 侑加里 (総務グループ)
* 10/1~2/28 派遣

○ 4 月 1 日付
業務グループ主任 田地 龍之 (業務グループ)

会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和 3 年 2 月 1 日~令和 3 年 3 月 31 日)

☆入会会員

2 月 12 日	(有) A & F J A P A N [商社]	〒121-0064 足立区保木間5-26-2-903	☎ 03 (5244) 4752
3 月 11 日	(株) テク ス ン パ ー ト ナ ー ズ [商社]	〒135-0064 江東区青海4-4-11	☎ 03 (3527) 5613
3 月 23 日	(株) スター・コンコルド・ロジスティクス [運輸]	〒102-0083 千代田区麴町2-6-7	☎ 03 (6803) 0133

☆退会会員

3 月 31 日 JWM Asia Japan(株)、大丸興業(株)、日本ジフィーポット・プロダクツ(株)、日本埠頭倉庫(株)平和島事業所、(株)丸運東京通関事務所

👁️ タイム eye 🗨️

業務グループ 台湾産いんどなつめ生果実初輸入

2月11日大井5号入港WAN HAI 172で台湾産いんどなつめ生果実が東京港に初輸入され、検査結果は無事合格となった。

いんどなつめ生果実は台湾ではミカンコミバエ群種の寄主植物であるため、通常は輸入禁止品となっている。生果実の輸入に際しては、植物防疫法で定められた条件付きでの輸入が認められており、低温処理施設において生果実の中心温度摂氏1.2度以下になったことが確認されたのち、引き続き14日間その温度以下を維持する低温処理が必要となっている。

いんどなつめはナツメ属クロウメモドキ科の一種で、ナツメの和名の由来は「夏に入って芽が出る」ことに由来しており、台湾でいんどなつめは「蜜棗」と表記される。なじみのある韓国薬膳料理のサムゲタンに入っている乾果や生薬用途での乾果とは品種が違い、生食用で輸入されたものである（写真）。



見た目は小さい青りんごのような色と形をしており、皮は光沢を放ち、艶がある。およそ果実を見ただけでナツメと答えられる人は少ないのではないだろうか。食す際には中には紡錘型の固い種があるのでそれに気を付ければ、皮は薄いので皮ごと丸のままでも食べられるという。カットする際はアボカドをカットするように種に沿って一周包丁を入れてひねれば種を除去して食べやすくすることもできる。味は爽やかな甘みとほのかな酸味を持つ。食感はシャリシャリとした独特の食感があり、食感を特筆するファンも多い。生薬に使われるほどのナツメ属の仲間だけあって栄養価も高く、抗酸化作用のあるビタミンCはレモンの約2倍、ビタミンB3はキウイの10倍含まれているスーパーフルーツである。

旬は冬で産地の台湾では12月から3月頃に流通しているようだ。輸入量自体がまだ少なく、スーパーなどの店頭で見かけることは少ないが、いんどなつめを見かけたらは是非食していただきたい。

（業務グループ 大西 洋）

業務グループ 植物検疫証明書のコンテナ

アタッチの注意点について

東京港における韓国、中国、台湾など、一部のアジア圏から輸入される生鮮果実、野菜、切花類など、輸入植物検疫に必要な輸出国政府発行の植物検疫証明書（Phytosanitary certificate、以下PC）が郵便事情や貨物の引取りを急ぐことなどの理由から、コンテナ内に添付される貨物が増加しております。

輸入貨物のPCがコンテナ内に添付されている場合、当協会へ申請する際、「植物検疫証明書コンテナ内添付（インコン）連絡票」を申請書類に添付されたものに限り、植物検疫時に当協会立会者が回収しております。中国航路の大型船の場合、1名の職員で回収するPCが100枚を超える場合もあり、限られた検査時間の中でPCの回収を確実にを行うことが困難になる場合があります。



コンテナ内の添付場所については、回収を迅速、確実にするため、コンテナに向かって右扉の内側に添付をお願い致します。また、PCが複数枚ある場合は、まとめて1つの封筒に入れていただき、回収を容易に出来るようにご協力をお願い致します（写真）。左扉の内側や、コンテナ内の両サイドの壁面や、貨物の梱包に貼ってある場合など、貨物の荷崩れにより十分なドアの開扉が出来ない場合、回収出来ない可能性もあります。添付方法については、PCに直接セロハンテープを貼って固定しているものもあり、回収に手間取り、剥がす際に破れてしまう場合もあるため、結露による水濡れ防止を含め、封筒やビニール袋などに入れて添付する様、輸出関係者への指示をお願い致します。

中国のPCについては、過去に偽造されたものが発見された事例があるため、検査後の防疫官による確認と、申請時に添付されたPCコピーとの突合に時間を要し、場合によっては結果の通知が遅れる可能性もあります。また、現地での添付忘れや、間違ったPCが貼られていた事例もあり、結果として現地から後日郵送で送付され、通知が大幅に遅れた事例もありました。事前の郵送、提出であれば、検査前日までに防疫官のチェックを受けられますので、事前の郵送の手段も是非ご検討ください。

（業務グループ 西村 洋一）

東京港輸入植物品目別統計表

(1月-2月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	7	221,030	9,228	0	0	221,030	9,228
栽植用球根類	個	16	1,985,948	0	0	0	1,985,948	0
アマリリス	"	7	63,948	0	0	0	63,948	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	9	1,922,000	0	0	0	1,922,000	0
栽植用種子	kg	39	289,649	3,000	0	0	289,649	3,000
草花・樹木	"	1	617	0	0	0	617	0
野菜	"	24	110,926	0	0	0	110,926	0
普通・特用作物	"	13	172,393	3,000	0	0	172,393	3,000
牧草・芝草	"	0	0	0	0	0	0	0
切花、切葉、切枝	個	259	35,027,225	1,260,000	0	0	35,027,225	1,260,000
アンズリューム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	25	599,940	0	0	0	599,940	0
キク	"	101	9,278,854	0	0	0	9,278,854	0
シダ(レザーフアン)	"	16	2,859,800	0	0	0	2,859,800	0
果実	kg	941	15,817,209	430,461	38,239,250	26,063,654	54,056,459	26,494,115
オレンジ	"	157	2,554,135	0	0	0	2,554,135	0
グレープフルーツ	"	147	3,019,506	19,099	0	0	3,019,506	19,099
タンジェロ(ミネオラ)	"	25	674,967	0	0	0	674,967	0
レモン	"	30	645,475	0	0	0	645,475	0
パイナップル	"	62	1,209,673	56,805	3,103,480	2,517,623	4,313,153	2,574,428
バナナ	"	119	1,749,238	340,038	35,135,770	23,546,031	36,885,008	23,886,069
マンゴウ	"	7	30,289	0	0	0	30,289	0
キーウイフルーツ	"	51	812,352	14,519	0	0	812,352	14,519
ブドウ	"	6	86,998	0	0	0	86,998	0
野菜	kg	1,852	35,280,105	61,786	0	0	35,280,105	61,786
カボチャ	"	111	2,686,159	23,400	0	0	2,686,159	23,400
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	3	36,360	0	0	0	36,360	0
パプリカ	"	48	498,702	0	0	0	498,702	0
メロン(ハミウリ含む)	"	5	81,170	0	0	0	81,170	0
キャベツ	"	13	454,930	0	0	0	454,930	0
セロリ	"	7	114,611	14,515	0	0	114,611	14,515
ナガネギ	"	162	2,153,229	0	0	0	2,153,229	0
ニンニクの芽	"	15	199,084	0	0	0	199,084	0
ハクサイ	"	3	26,400	0	0	0	26,400	0
ブロッコリー	"	25	259,349	0	0	0	259,349	0
レタス	"	140	1,581,800	0	0	0	1,581,800	0
タマネギ	"	532	12,674,517	0	0	0	12,674,517	0
ニンニク	"	98	1,825,688	23,871	0	0	1,825,688	23,871
アスパラガス	"	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	"	50	1,407,220	0	0	0	1,407,220	0
サトイモ	"	13	251,370	0	0	0	251,370	0
ショウガ	"	61	1,442,807	0	0	0	1,442,807	0
ニンジン	"	172	4,398,690	0	0	0	4,398,690	0
こく類	kg	881	17,965,382	0	38,087,910	0	56,053,292	0
オオムギ	"	15	299,193	0	0	0	299,193	0
エンバク	"	65	1,444,944	0	0	0	1,444,944	0
コムギ	"	15	294,050	0	38,087,910	0	38,381,960	0
コメ	"	152	2,872,484	0	0	0	2,872,484	0
ソバ	"	9	184,667	0	0	0	184,667	0
トウモロコシ	"	45	838,340	0	0	0	838,340	0
モルト	"	575	11,999,050	0	0	0	11,999,050	0
まめ類	kg	885	17,759,814	0	0	0	17,759,814	0
エンドウ	"	0	3,000	0	0	0	3,000	0
ダイズ	"	798	15,915,372	0	0	0	15,915,372	0
ラッカセイ	"	55	1,236,855	0	0	0	1,236,855	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	637	9,728,800	0	0	0	9,728,800	0
カカオ	"	2	2,900	0	0	0	2,900	0
コーヒー	"	3	39,050	0	0	0	39,050	0
タバコ	"	86	1,571,250	0	0	0	1,571,250	0
アーモンド	"	207	3,403,284	0	0	0	3,403,284	0
クリ	"	3	44,000	0	0	0	44,000	0
クルミ	"	98	1,649,990	0	0	0	1,649,990	0
ポップコーン	"	67	1,335,650	0	0	0	1,335,650	0
油料、肥料、その他雑品	kg	4,587	103,473,431	0	0	0	103,473,431	0
乾燥牧草(ヘイ)	"	3,278	75,981,122	0	0	0	75,981,122	0
アニマルフィード	"	7	85,374	0	0	0	85,374	0
アルファルファヘキューブ・ペレット	"	278	7,052,196	0	0	0	7,052,196	0
コーンコブミール	"	2	42,130	0	0	0	42,130	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	72	1,630,958	0	0	0	1,630,958	0
ビートパルプペレット	"	84	1,970,468	0	0	0	1,970,468	0
イネワラ	"	39	677,337	0	0	0	677,337	0
ココピート	"	109	2,068,710	0	0	0	2,068,710	0
ココヤシ園芸資材	"	73	1,585,734	0	0	0	1,585,734	0
ビートモス	"	235	5,067,858	0	0	0	5,067,858	0
ミズゴケ	"	6	12,610	0	0	0	12,610	0
タケ	"	22	344,792	0	0	0	344,792	0
木材	m³	0	0	0	0	0	0	0
** 総合計 **	kg	9,822	200,314,390	495,247	76,327,160	26,063,654	276,641,550	26,558,901
	個	282	37,234,203	1,269,228	0	0	37,234,203	1,269,228
	m³	0	0	0	0	0	0	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。